

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

VP-16+CBDCA+Atezolizumab 療法

3 週毎 4 コース予定

疾患名 小細胞肺癌

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day 1	day 2	day 3
テセントリク(アテゾリズマブ)	1200 mg/body	↓		
エトポシド	100 mg/ m ²	↓	↓	↓
カルボプラチン	AUC 5	↓		

- 【注意】 * 他剤使用時はアテゾリズマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。
 * アテゾリズマブ投与時はインラインフィルター(0.2 または 0.22 μ m)を用いて投与すること。
 * アテゾリズマブの点滴時間は初回投与時 60 分かけて点滴静注、2 回目以降は忍容性が良好であれば、30 分投与でもよい。
 * エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時 100 mg を輸液 250 mL 以上で溶解(濃度 0.4 mg/mL 以下の濃度になるように)し、30 分以上かけて点滴静注する。また DEHP フリー点滴セットを使用する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル(125mg) 1C を内服

- ① 生食 500 mL 維持(20 mL/時間)
- ② テセントリク 1200mg+ 生食 250 mL 点滴静注(60~30 分)
- ◎メインの生食でフラッシュ
- ③ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 4.95 mg (1.5 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ④ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500 mL 点滴静注 90 分(360 mL/時間)
- ⑤ カルボプラチン + 5%ブドウ糖液 250 mL 点滴静注 60 分(250 mL/時間)

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

day 2, 3

- ① 生食 500 mL 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 3.3 mg (1 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ③ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500 mL 点滴静注 90分(360 mL/時間)

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

day 2, 3 アプレピタントカプセル(80mg) 1C 1×朝 内服

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
テセントリク 開始時刻	↓			↓		
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓			↓		
確認						

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
テセントリク 開始時刻	↓			↓		
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓			↓		
確認						